

なる。

飛板飛込

順位	氏名	得点	順位得点
一	毛利勝一(日大)	七八・六八	七
二	森澤厚(本塾)	七四・九四	五
三	神原昭三(本塾)	六六・六三	四
四	萩原(日大)	六一・七三	三
五	矢野正次(早大)	六一・六九	二
六	高田弘一(日大)	六〇・四五	一
得点 本塾九 日大十一 早大二			

高飛込

順位	氏名	得点	順位得点
一	森澤厚(本塾)	七三・〇九	七
二	山下(日大)	六六・一八	五
三	萩原(日大)	六三・七五	四
四	原田善彦(早大)	五八・六七	三
五	矢野正次(早大)	五七・五四	二
六	高田弘一(日大)	五三・九四	一
得点 本塾七 日大十 早大五			

各校總得点

本塾十六 日大二十一 早大七

森澤優勝すしかれども小河原七位、神原八位に落ち總合得点により本年度も日大に優勝を占められてしまつた實に残念であつた。

云つて甲斐なき事乍ら神原、小河原練習中の調子を出せば優勝は我軍の手中に歸したものをと思へば尙諦められず我等の無力を益々見せつけられる感に苦しめられた。(終)

慶應義塾水泳部歌

佐藤 傑作詩
向出利 雄作曲

- 一、灼熱炎天三句を 沖の汐風身に受けて
- 集ふ葉山の海の子等 見よや若人！ 雄々しき姿
- 二、逆捲く怒濤も悠々と 擧りて進む此の手練
- 八重の潮路ものならず 見よや若人！ 雄々しき集ひ
- あゝ！ 紺碧の空高く たなびくやぐらの三色旗
- あゝ！ 胸躍る潮の響 見よ！ 慶應の男の子等を

野球部

二十五年 春季リーグ戦

○慶應 8-0立教 一回戦(神宮) 四月八日

K	0	0	3	0	1	0	3	0	1
R	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 8									
	39	13	3	2	1				
	打安	四	盗	失	3				
	30	6	3	0	3				

本尾村丸田澤上場生 立大
 松瀬山徳種伊村平井 大澤—井上
 4 2 8 7 3 6 5 1 9

慶應は三四五の上位打者により得点の總てを叩き出し一方的に立を破つた。

○慶應 2A 1 1 立教 二回戦(神宮) 四月九日

K	0	0	0	0	0	2	A
R	0	0	0	0	0	0	1
計 1							
	27	5	5	0	1		
	打安	四	盗	失	2		
	31	6	2	0	2		

本尾村丸田澤上田場生田原 立大
 松瀬山徳種伊村前平井 古神 大澤—井上
 4 2 8 7 3 6 5 1 1 9 P. H 篠 9

立教大澤の速球・シュート・ドロップに前半完封された慶は、八回漸く反撃の機會を掴み徳丸の右前安打に逆轉連勝

した。

○慶應 9-0法政 一回戦(神宮) 四月二十二日

K	0	0	2	0	1	1	0	5	0	9
H	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 9										
	40	16	8	2	2					
	打安	四	盗	失	1					
	33	7	2	0	1					

本尾村丸田澤上場生原 法大
 松瀬山徳種伊村平井篠 横井—根本
 4 2 8 7 3 6 5 1 9 9

平古場は速球・ドロップが良く決り法を七安打散發に押へ其れに應へた慶打線は球威の無い横井大塚を良く攻め大勝を得た投手力の相違が此の試合を決定したと云へる。

○慶應 5A-0法政 二回戦(神宮) 四月二十三日

H	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
K	0	1	0	0	2	0	1	1	A	5A
計 0										
	30	3	0	0	3					
	打安	四	盗	失	1					
	34	11	5	0	1					

本原村丸田澤上尾田 法大
 松篠山徳種伊村瀬前 足立—廣瀬
 4 9 8 7 3 6 5 2 1

前田投手の好投に法は二壘を踏む者二名に封じられ非力の投手陣は慶打線に粉碎された。

○慶應 15-0東京 一回戦(神宮) 五月一日

